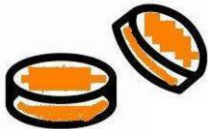


スプリセルの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。()内は抗がん剤の成分名です。

お薬の名前		連日	
1回	スプリセル (ダサチニブ) mg 1日__回		食後 錠

グレープフルーツジュースやグレープフルーツ、セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）を含む食品などはお薬の効果に影響を与えるため、摂取を控えて下さい。

◎飲み忘れた場合には、忘れた分を服用せず、次の分から服用してください。

絶対に2回分を一度に飲まないで下さい。

この薬の副作用が強く現れるおそれがあります。

★**起こりやすい副作用** これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後7～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！

白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板の数が少なくなることがあります。血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい

〈ご自身でわかる副作用〉

浮腫（手足や顔など）

顔や手足がむくむことがあります。次第に良くなることもありますが、症状が辛い場合や痛みを伴う場合は、主治医に相談して下さい。

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを使用する場合があります。

ただし、発熱・嘔吐などを伴う場合は病院へ連絡して下さい。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

皮疹・皮膚炎

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。

症状が強くなった場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくくこともあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

頭痛

頭痛を感じる場合があります。症状によっては痛み止めを使います。

⇒症状が気になる場合は、主治医にご相談ください。

筋肉痛・関節痛

一時的に肩や背中、腕や腰または関節などに筋肉痛のような症状がでることがあります。

場合によっては、痛み止めを使います。

⇒痛いところを温めたり、マッサージをしてみましょう。

筋けいれん

足や手が痛む、力を入れた時につる、寝ている時に体がつるなどの症状があらわれることがあります。

⇒症状が気になる場合は、主治医にご相談ください。

★下記の様な副作用症状が発現した場合は病院へ連絡してください。

- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）
- ★「動くと息が苦しい」「疲れやすい」「足がむくむ」「急に体重が増えた」（体液貯留）

※これ以外にも、いつもと違う症状を感じたら病院へ連絡してください。

担当薬剤師